

作成日 平成 11 年 2 月 8 日

改訂日 令和 4 年 5 月 16 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ライトクリスタル KF-100
製品整理番号	BA061
供給者の会社名称	株式会社ウォーターエージェンシー
住 所	162-0813 東京都新宿区東五軒町 3 番 25 号
担当部門	ケミカルサービス事業本部
TEL	03-3267-4073
FAX	03-3267-4106
緊急連絡電話番号	同 上
推奨用途および使用上の制限	工業用消臭剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:粉塵)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	区分に該当しない
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル
 注意喚起語
 危険有害性情報
 注意書き

なし
 警告
 眼刺激

<安全対策>

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・粉じんを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

<応急措置>

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・内容物及び容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

<保管>

<廃棄>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

- ①微生物培養物
- ②石灰石(炭酸カルシウム)
- ③塩化ナトリウム
- ④非イオン界面活性剤
- ⑤米糠

化学物質を特定できる一般的な番号

- ① —
- ②CAS No. 1317-65-3
- ③CAS No. 7647-14-5
- ④CAS No. 有り
- ⑤ —

化学式

- ①なし
- ②CaCO₃
- ③NaCl
- ④非開示
- ⑤なし

成分及び濃度又は濃度範囲

- ①微生物培養物 非開示
- ②石灰石(炭酸カルシウム) 非開示
- ③塩化ナトリウム 非開示
- ④非イオン界面活性剤 非開示
- ⑤米糠 非開示

官報公示整理番号(化審法)

- ① —
- ② —
- ③(1)-236
- ④化審法番号有り
- ⑤ —

(安衛法)

- ① —
- ② —
- ③公表化学物質
- ④公表化学物質
- ⑤ —

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静を保つ。必要に応じて、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で洗い流した後、石鹼を使いよく洗い落とす。必要に応じて、医師の診断を受ける。

眼に入った場合

直ちに流水で15分以上洗眼する。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。必ず医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄する。必要に応じて、医師の診断、手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な兆候及び症状

知見なし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項
医師に対する特別な注意事項

救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。
特になし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

二酸化炭素、粉末、泡、水噴霧。
特になし。
知見なし。
火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。関係者以外は安全な場所に避難させる。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動が困難であれば容器及び周囲に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具
及び予防措置

消火作業では、適切な保護具を着用する。消火活動は、可能な限り風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置

作業の際には必ず保護具を着用し、皮膚や眼に付着しないようにする。
風上に立つこと。漏出物に素手で触れてはいけない。
換気を必ず行う。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材
二次災害の防止策

漏出物を公共用水域に流出させないように注意する。
漏出したものをすくい取り、または掃き集め、空容器に回収する。

全ての着火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
漏出物やその容器内に水をかけてはいけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
局所排気・全体換気
安全取扱注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
必要に応じて全体換気、局所排気を行う。
取扱う前に安全データシートを理解した上で使用する。
取扱い時は作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を避ける。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
取扱い後は手をよく洗うこと。

接触回避
衛生対策

保管

安全な保管条件

通気の良い場所で密封保管する。
直射日光下及び高温多湿になる場所に放置しないこと。
ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度

設定されていない。
日本産業衛生学会(2018年度版):設定されていない。
ACGIH(2013年度版):設定されていない。

設備対策

粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い及び洗眼設備等を設置する。

保護具

呼吸用保護具:防じんマスク等を着用する。
手の保護具:樹脂製手袋を着用する。
眼、顔面の保護具:ゴーグル型保護眼鏡、又はフェイスシールドを着用する。
皮膚及び身体の保護具:ゴム長靴、前掛け、保護服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粉状及び粒状
色	薄茶褐色
臭い	特有の発酵臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	約7 (1質量%水溶液)
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	約0.65 (比重)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	自己反応性なし。
化学的安定性	通常の取扱い条件で安定。
危険有害反応可能性	知見なし。
避けるべき条件	高湿度、熱、直射日光
混触危険物質	強酸、強塩基は微生物培養物を不活性化する。
危険有害な分解生成物	加熱分解により酸化カルシウム、一酸化炭素、二酸化炭素を生じるおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口:ラット LD ₅₀ = 8,840mg/kg であることか、分類 JIS で区分に該当しないとした。 経皮:区分に該当しない。 吸入(気体):区分に該当しない。 吸入(蒸気):区分に該当しない。 吸入(粉塵):区分に該当しない。 吸入(ミスト):区分に該当しない。
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	分類 JIS で区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分に該当しない。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
発がん性	区分に該当しない。
生殖毒性	区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない。
誤えん有害性	区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない。
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない。
残留性・分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壤中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データ不足のため、分類できない。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が附着している汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMO の規程に従う。

国連分類

国連分類基準に該当しない。

海洋汚染物質

該当しない。

航空規制情報

ICAO/IATA の規程に従う。

国連分類

国連分類基準に該当しない。

国内規制

陸上規制情報

消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上規制情報

船舶安全法に該当する場合は定められている運送方法に従う。

国連分類

国連分類基準に該当しない。

海洋汚染物質

該当しない。

航空規制情報

航空法に該当する場合は定められている運送方法に従う。

国連分類

国連分類基準に該当しない。

輸送又は輸送手段に関する
特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光、水濡れ、湿気、熱を避け、容器の破損、漏れのないように積み込み、輸送中での荷崩れの防止を確実に行う。

粗暴に取り扱わない。

荷崩れ、落下などに注意する。

容器が破損しないように注意する。

雨水等による容器内への浸水厳禁。

緊急時対応措置指針

なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 シリカ 不純物として 0.1%未満含有

粉じん障害防止規則

別表第 1 第 11 号

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

化審法

非該当

消防法

非該当

海洋汚染防止法

有害でない物質 炭酸カルシウム

16. その他の情報

・記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査した訳ではないため、情報洩れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられる事をお薦めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、推奨用途上の通常的な取扱いを対象としたものなので、推奨用途から外れる特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

・問合せ先

担当部門 ケミカルサービス事業本部

電話番号 03-3267-4073 FAX 番号 03-3267-4106